

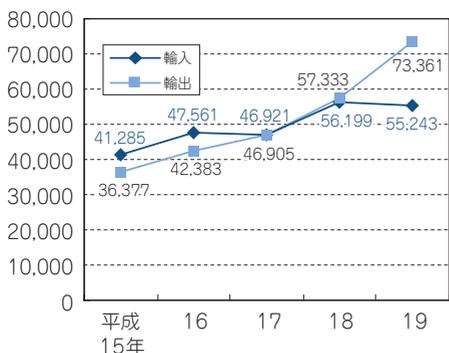
(貿易)

平成15年から平成19年までの貿易統計による境港の貿易額の推移を見ると、輸出額が増加しています。

平成19年の仕向地別貿易額の割合を見ると、輸入・輸出ともに「中華人民共和国」の占める割合が最も高くなっています。

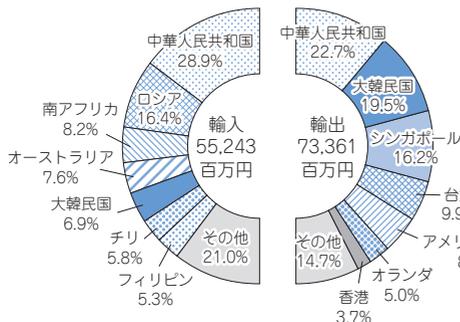
また、品目別貿易額の割合を見ると、輸入では「ウッドチップ」の占める割合が最も高く、次いで「木材」「科学光学機器」となっています。一方、輸出では「鉄鋼」の占める割合が最も高く、次いで「非鉄金属」「紙類及び同製品」となっています。

境港の貿易額の推移

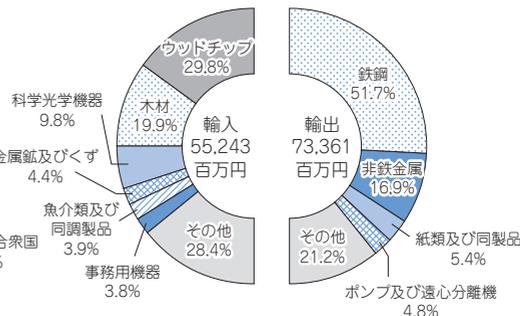


境港の仕向地、品目別貿易額の割合 (平成19年)

仕向地別



品目別



境港の貿易額

単位：百万円

項目	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
輸出額	36,377	42,383	46,905	57,333	73,361
うちアジアNIES	19,799	23,464	24,549	28,841	36,155
うちASEAN	3,789	6,003	8,258	10,407	14,597
輸入額	41,285	47,561	46,921	56,199	55,243
うちアジアNIES	3,821	2,895	4,808	5,414	3,895
うちASEAN	7,625	8,015	7,375	6,844	9,285
輸出入総額	77,662	89,944	93,826	113,532	128,604
外国貿易船入港隻数	938隻	835隻	721隻	772隻	582隻

資料 神戸税関「貿易統計」

アジアNIES…韓国、台湾、香港、シンガポール

ASEAN…タイ、マレーシア、フィリピン、インドネシア、シンガポール、ブルネイ、ベトナム、ラオス、ミャンマー、カンボジア